

ICT実践シート 高等部②

観点	コミュニケーション支援 ・ 活動支援 ・ 学習支援
目的・実態	<ul style="list-style-type: none"> ・ I 類型の生徒は普段自宅等で iPad を使用する機会がある生徒が多く、積極的に iPad を活用して、より機器操作を上達させることを目的とした。 ・ 関数や作図を、定規を使用して書くのが難しい生徒に、Geogebra というアプリを使用して作図やグラフをかいた。
方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ I 類型の数学活用、数学 I の授業。 ・ 授業で検索したら効果的な単元や、機器を使用して取り組むとスムーズにできそうな単元では、iPad 等を活用して、検索したり、関数のグラフを作成したりした。また、関数の授業では、自分の iPad をテレビに映して生徒とグラフを共有した。
成果（有効だった点／児童生徒の変容等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器を使用した授業は、生徒の関心意欲が増し、より積極的に授業に取り組んでいた。 ・ 黒板でグラフを書く際は、時間を要することが多いが、アプリを使用すれば、時間を短縮することができる。 ・ 手の緊張が強い生徒でも、アプリを使用すれば簡単に式を入力することができるので、他の生徒と同じペースでグラフを確認したり、問題に取り組んだりすることができた。 ・ アプリで入力したグラフは、拡大や縮小ができるので、自分の見やすいように調整しながらグラフを確認することができた。また、1つの座標に複数のグラフをかき場合は、グラフを色分けすることができるので、見やすかった。 ・ iPad で作成したグラフを他の生徒と共有することで、クラスの友人と一緒に課題に取り組んだり、問題を解決したりしてより良い解決策を導くことができていた。
課題・改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒用 iPad を借りてきたり、テレビを設置したりするのに時間を要するので、休み時間のうちに準備することが必要。 ・ iPad でのグラフ作成を行っている時、式を入力するだけでグラフが完成してしまうので、何度も繰り返して、イメージを定着させることが必要。 ・ グラフの画面に文字を書くこともできるが、あまり上手に書けない。

